

議事録

第3回 西東京市立田無第三中学校 学校運営協議会（要点記録）
日 時 令和8年10月2日（火）午後2時30分から午後3時30分まで 場 所 田無第三中学校第2音楽室 出席者 宇田 剛委員、本田 雄三委員、島崎 寛巳委員、伊藤 慎一委員、 加藤 直美委員、鈴木 愛美委員、鈴木 英暁委員、大久保 順子校長 （学校職員）脇山 聖司副校長、窪田 将樹主幹教諭 欠席者 曾我部 多美委員、小保内 俊雅委員 委員10名中8名出席により、本会議は成立
次第1 校長挨拶
次第2 会長挨拶
次第3 協議【進行 宇田会長】 （1）2 学期当初の教育活動の状況について 会 長 学校より説明をお願いします。 《副校長より、説明》 ・質問教室、自習教室の申込状況は、3 年生の申し込み数が多い。 ・9月にはコーチングの講師を呼び、生徒の意見を引き出すための声かけについて勉強するコーチング研修を行った。9月8日と9月27日に研究授業を実施。講師からは、先生たちの指導や内容もどんどん変わってきていると講評をいただいた。今後、三中学習スタンダードを踏まえての授業改善を継続していく。 ・「三中の日」の取り組みについては、徐々に浸透してきている状況。 ・10月31日に道徳授業地区公開講座を開催。講師に学校運営協議会委員の小保内俊雅先生をお願いしている。同日の午後に、多世代交流型清掃活動「三中ピカピカ大作戦」を行う。 ・小中連携の取組を実施、9月11日に小中連絡会、9月18日（金）に部活動体験を行った。 ・全国学力・学力調査、2学期中間考査の結果について。3年生がよく頑張っている様子が見られた。 （2）1 学期の学校評価の結果について 会 長 それでは、続いて学校より説明をお願いします。 《副校長より、説明》 ・授業改善の取組について。教員や生徒から肯定的な回答が多い一方で、保護者に取組の様子が伝わっていないことが分かった。学習での支援については、概ねご理解をいただいている。 ・授業や行事等の充実については、保護者の方に肯定的に受け止められている。係活動・委員会活動等の自治的活動についても教師、生徒、保護者と全面的に肯定的な意見であった。 ・心身の健康維持について。ふれあいアンケートの定期的な実施といじめの組織的対応について、保護者の方は概ね肯定的である。生徒も肯定的な回答状況であったが、一定

数悩んでいる子がいるため、今後も丁寧に様子を見ながら対応を考えていきたい。

- ・保護者の学校教育への参画については、76%の保護者が何かしら学校に関わりたいと回答していた。
- ・働き方改革について。昨年度との比較では、肯定的な見方も増えてきたが、以前として大きな負担感を感じている様子も見られるため、引き続き業務の改善を進めていきたい。

会長 会長 アンケートでは、相談しにくいという子がいるとのことで、今後も対応していく方針は素晴らしいです。教員の働き方について、先生ご自身で感じているところを少し話していただけますか。

教務主任 今年度教務になり、様々なシステムを新たに導入しました。システムを作って運用していく段階ではかなりの負荷が出ます。慣れていないため、負担感を感じている先生もいると思います。

会長 来年は楽しみですね。他には何かございますでしょうか。

委員 相談体制についてですが、最近のPTAでの意見交換会の中で、参加された保護者の方の悩みを聞く機会がありました。気持ちを言語化できたことが一番大切だと思いました。悩みを話す機会は大切かと思います。学校に対して直接電話するのは敷居が高いと感じている親御さんもいます。気軽に話せる機会があるといいなと思いました。

校長 茶話会のように聞いてもらえる機会があるだけでも安心できますよね。今、学校でふれあい面談を担当とだけでなく「誰と話してもいいよ」という形にしようと考えています。担任以外の先生にとも話したい子がいたら話せるシステムを作ってみようと考えています。また、学校公開のときには、教員がなるべく受付や廊下に立って、保護者の方と少しでもお話しできるようにしています。学年主任がもっと保護者の方と話せるようにしていきたいですし、困ったときは副校長でもいいのでぜひお声がけいただきたいです。

(3) 令和9年度学校経営計画に向けた指導の重点について

会長 学校より説明をお願いします。

《校長 説明》

- ・教育目標は、変更せず今後も継続。
- ・学校の特色として、①主体的に学ぶ生徒の育成、②笑顔とまごころを大切にする教育の充実、③生徒、保護者、地域から信頼される学校づくりの3つを柱に取組を進める。
- ・目指す学校像「笑顔とまごころがあふれ、夢を育む学校、目指す生徒像「主体的に考え、自らを高め合う生徒」、目指す教師像「生徒に寄り添い、挑戦を支援する教師」とする。
- ・生徒向けに評価規準の説明を年度当初に行う。朝の読書や時間割を見直して落ち着いて授業に入れるようにしていく。
- ・ふれあい面談を拡充。担任以外にも相談できるようにする。
- ・自治活動の発展・継続。生徒会活動の精査、学年での自治的な活動の充実。
- ・各教科における探究的な学びの充実。学習の手引きの作成やガイダンスの実施。
- ・本物に触れて感じて考える活動の充実。東京都のコンシェルジュを活用して海外の生徒との国際交流、オリンピックを招聘しての体育の授業、金融経済教育の継続。

会長 ありがとうございます。それでは、ご意見をお願いします。

委員 学校のよさは、生徒が自分で考えて自分たちで行動すること、それが一番人間性を育てると思うので、生徒の自治的な活動に力を入れていくのはいいなと思いました。

委員 勉強についても子どもにガイダンスはありがたいです。

委員 ふれあい面談、生徒同士もいいのかなとは思いました。難しいところもあるとは思いますが。

委員 平和の授業をやれるといいなと思います。身内でやってみたいという話がありました。

校長 来年４月の「西東京平和の日」の近くで企画して入れていただけないでしょうか。

その関連で、修学旅行について皆さんのご意見を聞きたいのですが、現在京都・奈良に行っていますが、インバウンドで非常に混雑しています。本当は長崎もいいのではないかと考えていまして、ただ、旅費の問題が一番ですが、飛行機に乗る体験という意味も含めて、どう思いますか。

委員 平和学習の観点からも、修学旅行で広島・長崎に行くのはよいと思います。体験者の話を聞くのが一番心に響くと思います。ただ、費用面が一番ネックになると思うので、行政等からの補助があるかどうかも含めて、声を上げることは大切だと思います。

委員 金融経済教育の部分について、日本の税金の仕組みなどを義務教育のうちから教えるのも非常に良いことだと思います。

校長 金融教育については、ライフプランやお金の大切さを昨年度から実施しています。来年度は全学年で実施できるように考えています。

委員 税についても知るというのではないのでしょうか。大人になってから知ることが多いので今から知ることも大切だと思います。

委員 本物にふれることはいいことですね。職場体験は大切だと思います。どのようにして協力する事業所を決めているのですか。

校長 職場体験については、今年度から委託にしました。子どもたちが本当に行きたいところに行ける手配ができ、教員の事務量も軽減されたので良かったと思っています。一方で、部活動について大きな悩みがあります。近隣の中学校では地域移行が始まっていますが、教員の人選や本校の規模（生徒数等）を考えると、部活動を少し減らすことは必要ではないかという悩みがあります。

委員 部活があるのが当たり前という思い込みが私たちの中ではありますが、部活がなければ日本の子どもの成立がどうなるのかというところから問わなければいけない時期に来ていると思います。

次第４ 事務連絡

副校長 次回は、１２月１９日（金）午後２時３０分から開催する予定です。

以上をもちまして、第３回学校運営協議会を終了します。